

# 総合戦略効果検証評価表

令和6年度実施事業評価

みんなで未来をつくるまち

～手と手を取り合い住みつづけたい しめ～



令和8年3月

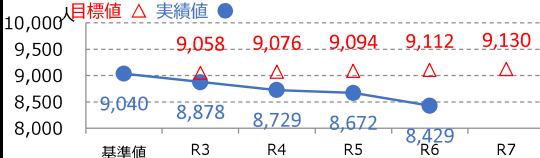
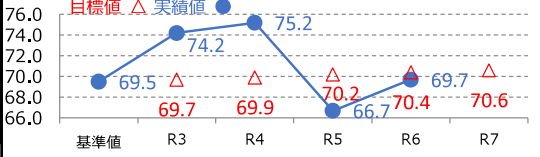


志免町 経営企画課

基本目標1(総合戦略)

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和6年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	1. 出産・子育ての希望をかなえる	関係課	子育て支援課、福祉課、健康課、まちの魅力推進課、住民課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R6目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
0~17歳の子ども的人数 【総合戦略】	人	9,040	9,112		c
子どもを育てやすいまちだと感じる 保護者の割合 【総合戦略】	%	69.5	70.4		b

判定:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

1-a 子育てしやすい保育環境を整える				所管課	
●待機児童の解消 ●保育の質の向上 ●多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善				子育て支援課	
重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
待機児童数(保育園) 【総合戦略】	人	24	0		S
1-a		↓	0		
待機児童数(学童保育所) 【総合戦略】	人	72	0		A
1-a		↓	18		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①待機児童の解消 ②保育の質の向上 ③多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善	<p>①多様な運営主体の参画の促進を図りながら、地域の保育需要にあった認可保育園や学童保育所などの整備を行うとともに、保育士の働きやすい環境を整えるなど、保育人材の確保を進めることにより待機児童を解消します。【総合戦略】</p> <p>②保育園などにおいて、子どもの最善の利益が優先して考慮されるよう研修機会の充実などにより保育の質を向上させます。【総合戦略】</p> <p>③個々のライフスタイルや多様なニーズに対応した保育を充実させるとともに、保育環境を改善します。【総合戦略】</p>
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育保育施設、学童保育所等の入所調整や給付費の給付等を適正に管理し、保育の質の向上のため研修の実施や研修情報の提供等を行った。</li> <li>・多様化する子育て環境やニーズに応えるため、ファミリーサポートセンター事業や一時預かり事業等を整備した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設の保育士が不足している。</li> <li>・一時預かり事業において、保育士不足により利用者が預けづらい状況がある。</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業において、まかせて会員の高齢化等により援助活動が制限されることがある。</li> <li>・ショートステイ委託先が定員超過で受け入れができないことがある。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立保育園においては、保育業務に従事する雇用の幅をさらに広げる。</li> <li>・人材確保のため、保育士家賃補助事業を整備する。</li> <li>・老朽化しているタンポポ保育園の施設整備に対して補助金を交付する。</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業のまかせて会員増加に対する広報等周知を行う。</li> <li>・ショートステイ委託先を確保するため、里親等地域資源の開拓を行う。</li> </ul>

1-b 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる ●子育てに関する相談体制の充実 ●子育て世帯の交流機会の充実 ●子育てに関する情報発信の充実	所管課 健康課
--	------------

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
子育てについて情報を知りたいとき や 相談したいときの相談体制に 満足している町民の割合 【総合戦略】	%	77.7	80.0		S
1-b		↑	83.2		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①子育てに関する相談体制の充実 ②子育て世帯の交流機会の充実 ③子育てに関する情報発信の充実	①子育てに関する不安感や負担感を軽減できるよう、わかりやすく気軽に相談できる体制を充実させるとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。【総合戦略】 ②子育て世帯が地域から孤立することがないように、利用者のニーズにあった子育て講座や交流の機会を充実させます。【総合戦略】 ③子育てに関する行政サービスの案内や地域の情報を、様々な方法を活用し、わかりやすく、積極的に発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・妊娠期の不安の解消や仲間づくりにつながるよう、マタニティ教室を集団・個別で開催した。 ・子育て世帯が参加しやすいよう、西小校区での出張子育てサロンを開催回数を増やした。
課題	・子育て世帯の多い西小校区から子育て支援センターが遠く行きづらい。
R8年度取り組み方針	・出張子育てサロンを実施する公民館を増やす。(令和7年度より実施) ・子育てセンターの周知を10か月相談会場でも実施する。(令和7年度より4か月検診で実施)

基本目標1(総合戦略)

1-c 子どもの障がいや発達に応じた支援を充実させる ●発達に関する相談や相談体制の充実 ●特別支援保育の充実 ●発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	所管課 福祉課
---	------------

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
加配保育士配置人数 (認可保育園等+学童保育所) 【総合戦略】	人	26	45		A
1-c		34			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①発達に関する相談や相談体制の充実 ②特別支援保育の充実 ③発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	①発達に関する相談や子育て教室で経過を見ていくことで、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を早い時期から行える体制を整えます。【総合戦略】 ②特別支援保育指導員の保育園などの巡回指導により、特別支援保育の質を向上させるとともに、加配保育士の適切な配置を促すなど、特別支援保育を充実させます。【総合戦略】 ③福祉、保健、教育、医療など関係機関の連携を強化し、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を行います。【総合戦略】 ④小中連携による個のニーズに応じた特別支援教育を推進します。
主な取り組み状況	・福祉課・学校教育課・子育て支援課に子どもの発達に関する相談窓口があり、臨床心理士が子どもやその家族からの相談を受け付け、子どもの状況や必要な支援に応じて協議や情報交換を行い、就学前から就学後まで切れ目ない支援を行った。 ・学校では、特別な教育的支援を必要とする児童生徒のために、学級補助員を配置するとともに、個別支援計画や指導計画を作成し、児童生徒の個のニーズに応じた支援を行った。 ・学校では、特別支援教育への理解を深めるために特別支援教育コーディネーター等担当者会を実施したり、子ども達の小中交流会を通して個に応じた支援のあり方を協議したりするなど、義務教育9年間を見据えた継続的な支援ができるようにした。
課題	・家族が抱える問題が多様化・複雑化し、子どもの発達にも影響を及ぼしている。 ・家庭で過ごす時間より集団で過ごす時間が長く、集団での気になる様子を受け入れ難い保護者が増えてきている。 ・障害児通所サービスの利用者が増加傾向にある。 ・就学にあたり、障がい児や発達が気になる子どもに関して、保護者からの相談がなかったり、保育園や幼稚園等と情報共有が十分ではないことがある。 ・学校では支援が必要な児童生徒が増加傾向にある。 ・特別支援学級や通級の学級数等に対して、指導経験がある教職員が少ない。
R8年度取り組み方針	・就学前から就学後まで切れ目ない支援を行うため、関係課や関係機関との情報を共有を更に進める。 ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するために、学級補助員を配置し、さらに声掛けや必要な支援等を行う教員免許を持たない学校運営補助員を配置する。 ・学校生活や学習に困難を抱える児童生徒、また児童に携わる教職員に対し、専門資格を有する相談員が個別相談を通じて助言・支援を行う。 ・子ども達の小中交流会を実施し、次年度に向けた個に応じた支援のあり方を協議するなど、義務教育9年間を見据えた継続的な支援を行う。

1-d 安心して子育てできる環境を整える	所管課
●妊娠期から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化 ●子育てに関する経済的負担の軽減	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
子ども施策に関する減免等経済的負担軽減事業数(国制度など町に実施判断がないものを除く) 【総合戦略】	件	8	9		B
1-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①妊娠期から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化 ②子育てに関する経済的負担の軽減	①安心して出産や育児を行えるよう、母子の健康を保持するための支援を行うとともに、心身の負担を軽減するために出産や育児に関して不安のある方や出産後のサポートなどの支援を行います。【総合戦略】 ②社会経済状況や若い世代の子育てに関する意識の変化から、子育てに経済的な負担を感じる家庭が増加しているため、児童手当の支給や医療費の助成など子育て世帯への経済的な負担を軽減します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク妊婦が妊娠中から出産後までを安心した状態で過ごせるよう相談・支援を行った。</li> <li>・産婦人科及び助産師等専門職と連携し、「宿泊型」「通所型」「訪問型」の産後ケアサービスを提供した。</li> <li>・福岡県医師会と福岡県自治体の集合契約で妊婦健康診査14回分の助成を行った。</li> <li>・産後うつ等の重症化などの予防の為、産婦健康診査2回分の費用助成を行った。【拡充】</li> <li>・聴覚障害の早期発見、早期治療につなげるため、新生児聴覚検査の費用助成を行った。【拡充】</li> <li>・妊婦に対し伴走型の相談支援と給付金(妊娠時:5万円・出産時:5万円)の交付を行った。</li> <li>・児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給を行った。児童手当は令和6年10月から所得制限を撤廃した【拡充】</li> <li>・令和6年4月から子ども医療、ひとり親家庭等医療において、未就学児を無料、小中学生は自己負担額を減額した【拡充】。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要フォロー妊婦や流・死産及び妊娠中絶者の支援のための面談による相談支援体制が不足している。</li> <li>・国は、「1か月児」及び「5歳児」健康診査の実施を市町村に推奨しているが、志免町では実施できていない。</li> <li>・産後ケアサービス委託料が近隣市町より安価であるため、医療機関から委託料見直しの要望が出ている。</li> <li>・多胎妊婦は、妊婦健康診査の回数が多く、健診費用負担(経済的負担)が大きい。</li> <li>・ヘルパー派遣に関する事業の委託先でのヘルパーの確保ができず、急な対応ができないことがある。委託金額についても近隣などと比較し検討していく必要がある。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月児健診を医療機関と連携し、個別健診実施の取組を開始する。</li> <li>・妊婦健康診査費用助成(14回)に加え、多胎妊婦への健診費用の助成(5回上限)を実施する。</li> <li>・産後ケアサービス委託料を近隣市町同等に引き上げる。</li> <li>・妊産婦の相談支援体制の整備や、健診後の連携体制充実のため専門職の増員を検討する。</li> <li>・ヘルパー派遣に関する事業の受託事業者を増やす。</li> <li>・子ども医療費、ひとり親家庭等医療費の助成拡大を行う。医療費抑制のため正しい病院受診など周知を行う。</li> </ul>


基本目標1(総合戦略)

1-e 男女共同参画社会をつくる	所管課
●男女共同参画の推進	まちの魅力推進課

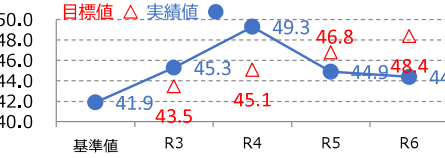
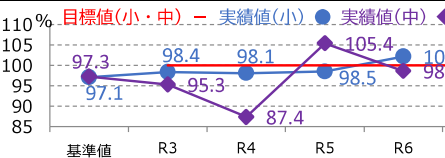
●生涯学習、文化活動の推進 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
審議会などにおける女性委員の割合 【総合戦略】	%	34.2	40.0		A
1-e		↑	41.0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

男女共同参画の推進	①性別に関わらず自分らしく生きることができる社会になるよう啓発するとともに、「志免町男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画を推進します。【総合戦略】 ②地域や企業に対してワーク・ライフ・バランスについての周知と啓発を行います。【総合戦略】 ③男性の料理教室など、男性の家庭参画への意識を改革するための講座などを開催します。
主な取り組み状況	・第3次志免町男女共同参画行動計画の策定を行った。
課題	・本年度に実施した意識調査(志免町男女共同参画社会に関する意識調査)では、社会全体における男女の地位の平等感について、「男性優位」と感じる割合が7割を超えているが、男女間で認識が異なる(男性68.4%に対し女性80.4%)。
R8年度取り組み方針	・引き続き啓発活動を行う。

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和6年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	2. まちの未来を担う人材を育成する	関係課	学校教育課、社会教育課、まちの魅力推進課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

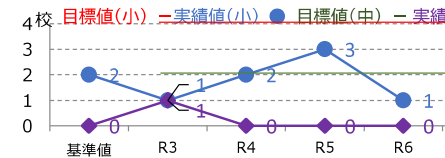
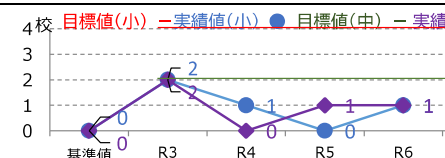
数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R6目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合【総合戦略】	%	41.9 ↑	48.4 44.4		C
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小6・中3)【総合戦略】	%	小 97.1 中 97.3 ↑ 全国平均値以上	小・中とも100以上 小 102.2 中 98.6		b

※全国平均値を100とした時の達成率を記載

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

2-a 確かな学力、体力の向上を図る	所管課
●確かな学力の向上 ●体力の向上	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
全国学力・学習状況調査において、全ての教科区分で全国平均を上回った学校数(小6・中3)【総合戦略】 2-a	校	↑	小学校 2校 中学校 0校 小学校 1校 中学校 0校		B
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において体力合計点が男女とも全国平均を上回った学校数(小5男女・中2男女)【総合戦略】 2-a	校	↑	小学校 0校 中学校 0校 小学校 1校 中学校 1校		A

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①確かな学力の向上 ②体力の向上	<p>①確かな学力向上のため、「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の3つの柱から取組を推進します。【総合戦略】</p> <p>②児童生徒が運動やスポーツをする機会を充実させ、体を動かす習慣づくりの取組を推進します。【総合戦略】</p>
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>志免町学力向上プラン(「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」)を策定し、町主催研修や実践交流会などを通して指導体制の改善や授業改善に取り組んだ。</li> <li>体を動かす習慣づくりとして、計画的かつ継続的に「1校1取組」運動に取り組んだ。</li> <li>地域部活動推進協議会を設置し、地域に根差した部活動の在り方について協議を重ね、休日部活動の地域展開に関する実証事業を実施する方針を決定した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業づくり」については、小学校では国語・算数ともに全国平均を上回っているが、中学校では国語が全国平均、数学が全国平均を下回っている。</li> <li>授業以外で週3日以上運動やスポーツをしている児童生徒の割合が目標値を下回っている。</li> <li>近隣市町ではプール授業の民間委託が進んでおり、町が民間委託を希望する場合、受け入れ可能な事業者の確保が困難となる可能性がある。また、近年の異常気象により熱中症の危険性が高まっており、屋外プールにおいて児童生徒の安全を確保することが難しくなっている。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びを保障するための授業改善、家庭・学校が一体となって自ら学習する児童生徒の育成を丁寧に進める。</li> <li>意図的に運動の機会を保障するとともに、運動の楽しさを味わわせる工夫を行う。</li> <li>引き続き、休日部活動の地域展開等に関する事業に取り組む。</li> <li>東小学校での民間委託の実施事例を活かしながら、町全体でプール授業の民間委託を本格的に開始する。これにより、教員の負担軽減を図るとともに、働き方改革の推進にもつなげる。</li> </ul>

<b>2-b 豊かな心を育てる</b>	<b>所管課</b>
●道徳教育の充実	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小6・中3) 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	小 90.1 中 89.3	小・中とも 100以上		A
2-b		 全国平均値以上	小 105.1 中 94.1		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

道徳教育の充実	「ふるさと志免」を愛し、異文化を理解し、異なる価値観を受容する子どもを育てるため、自分ごととして「考え、議論する」道徳の授業を保護者に公開し、児童生徒の道徳性を育みます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・保護者等への道徳科の公開授業や校内研修を充実させることで、他人を思いやる心、郷土を愛する心等に対する理解を図ることができた。
課題	・郷土を愛する意識は、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では全国平均を下回っている。
R8年度取り組み方針	・コミュニティ・スクールの取り組みに基づき、小中学校ともに地域の方と、自分の住む地域をいかによく活性化していくか、そのために何ができるかについて考え、実践する場を設け、郷土を愛する心を育む。

<b>2-c 安全で快適な教育環境を整える</b>	<b>所管課</b>
●ICTを活用した教育環境の整備	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
授業にICTを活用して指導できる教職員の割合 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	77.3	100以上		A
2-c		 全国平均値以上	98.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した教育環境の整備	ICTを活用できる教育環境の整備を進め、ICTを活用した学習、指導方法の改善や小中学校のプログラミング教育の体系化を図るとともに、一人ひとりへの個別最適化された学びを保障します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・教育のICT化の進展に伴い、タブレット端末を活用した授業やテストの増加により通信トラブル等の不具合が顕在化していることから、学校におけるネットワーク環境の現状を分析・診断するためのアセスメントを実施した。
課題	・ICT活用の増加に伴い、それに対応する児童生徒の情報モラルの習得が不十分になっている。 ・GIGAスクール構想に基づいて整備したネットワーク機器や電子黒板などのICT機器が耐用年数を迎えている。
R8年度取り組み方針	・引き続き、ICT機器活用能力向上のための研修を充実させるとともに、児童生徒への情報モラルの学習を教育課程に位置づけ、発達段階に応じた学びを深めることができるようにする。 ・ネットワーク機器や電子黒板などのICT機器を更新することで、教育現場におけるICT環境の安定性と利便性の向上を図る。

基本目標2(総合戦略)

<b>2-d 社会にはばたく力を育成する</b>	<b>所管課</b>
●英語教育の充実 ●キャリア教育の推進	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合(中3) 【総合戦略】	%	70.7	100以上		S
※全国平均値を100とした時の達成率を記載		↑ 全国平均値以上	139.2		
2-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①英語教育の充実 ②キャリア教育の推進	①自分で計画を立て、実行し、自分自身を振り返りながら、夢や目標をもつ子どもを育成するため、一人ひとりの「社会的・職業的自立」に向けて必要となる基盤や能力、態度を育てるキャリア教育を推進します。【総合戦略】 ②児童生徒の英語コミュニケーションへの意欲や英語力を高めるため、小学校教員と中学校英語教員へ研修を啓発するとともに、ALTや学習ソフトの活用を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・中学校では、高校の体験入学や出前授業、二分の一成人式や立志式などを教育課程に位置づけ、生徒が自己と向き合い、将来の夢や目標を実感できるような活動を積極的に展開した。 ・外国語教育の中小連携を目的に、教職員の外国語科の授業力向上を図る研修を設け、中学校の授業公開を通して実践的な交流を行った。 ・小学生の希望者を対象に夏季休業中にイングリッシュ・デイ・キャンプを実施し、英語への興味関心を高めることに取り組んだ。また中学校ではオンラインによる国際交流を行い、同世代の外国の方との交流を体験し、異文化への興味関心を高めることができた。
課題	・ふくおか就学サポートノートは保護者が作成するものであり、活用ができていない家庭がある。 ・「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童生徒の割合は、小学校では全国平均値を上回ったが、中学校では下回っている。
R8年度取り組み方針	・行事を生かした成長の節目の実感の機会を持つとともに、実際に体験したり、職業人と直接交流したりするなど、児童生徒が夢や希望を持てる機会を工夫し、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ・小学低学年から英語への興味関心を高める取り組みを充実させ、教職員の授業力向上を目指す研修を充実させる。 ・英検を受験する生徒に対する受験料の補助を継続し、英語力及び学習意欲を向上させる。

<b>2-e 子どもの健全育成を推進する</b>	<b>所管課</b>
●子どもの活動機会の提供	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合【総合戦略】	%	73.5	73.5		B
2-e		→	67.2		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子どもの健全育成を推進する	子どもたちの豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増加させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域こども教室や生涯学習ジュニア講座などを開催した。 ・平日の放課後、学校施設の運動場や体育館などをジュニア団体に貸出を行った。 ・青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保した。
課題	なし
R8年度取り組み方針	・引き続き、地域こども教室や生涯学習ジュニア講座を開催する。また、青少年育成団体への支援を行う。

基本目標2(総合戦略)

<b>2-f スポーツ活動を支援する</b>	<b>所管課</b>
●スポーツ活動の振興	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
スポーツ行事の参加者数	人	4,510 ↑	4,600 2,267		B
2-f					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない


スポーツ活動の振興	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>『さわやかウォーキングしめ』をスポーツ推進委員と協力して開催した。</li> <li>スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し、しめまちスポーツフェスタ2024を開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事を中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。</li> <li>町のスポーツイベントに参加せずともスポーツを楽しむ機会が醸成されつつあるため、町の取組み内容や方針は見直していく必要があると考えられる。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。</li> <li>スポーツへの関心、意欲を高めてもらうため、スポーツフェスタなどに参加してもらい、日常における体力づくりのためにスポーツに接する機会を増やす。</li> </ul>

<b>2-g 生涯学習・文化活動を支援する</b>	<b>所管課</b>
●生涯学習、文化活動の推進	社会教育課

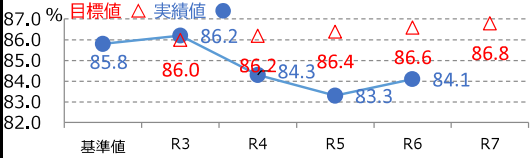
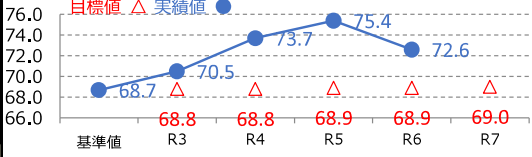
重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9 ↑	99.0 96.6		B
2-g					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

生涯学習、文化活動の推進	<p>①町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】</p> <p>②町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】</p>
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施した。</li> <li>図書館の教養講座を実施した。</li> <li>生涯学習館の講座では講座開催の周知についてホームページ、広報紙など、様々な手段で情報発信を行った。</li> <li>国際交流事業(イングリッシュプログラム)を実施した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行がなくなっている。</li> <li>文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、町民が参加しやすい講座を開催する。</li> <li>文化協会と連携をし、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。</li> </ul>

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和6年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	3.誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちをつくる	関係課	健康課、福祉課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R6目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
自立高齢者(65歳以上で介護認定を受けずに生活している高齢者)の割合【総合戦略】	%	85.8	86.6		b
		↑	84.1		
心身がともに健康だと感じる町民の割合【総合戦略】	%	68.7	68.9		a
		↑	72.6		

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

<b>3-a 町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する</b>	所管課
●健康づくりの啓発と活動機会の充実 ●心の健康づくりの啓発と人材育成	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
日頃、健康のための取組(3項目以上)を行っている町民の割合【総合戦略】	%	66.9	67.8		S
3-a		↗	70.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①健康づくりの啓発と活動機会の充実 ②心の健康づくりの啓発と人材育成	①「健康しめ21」に基づき、健康に関する意識向上を図り、ライフステージに応じた町民の主体的な健康づくりを支援します。【総合戦略】 ②地域公民館など身近な場での健康づくりの機会を充実させます。【総合戦略】 ③食生活改善推進会による親子料理教室や小学校での食育教育などを通じた食育推進を支援します。【総合戦略】 ④心の健康づくりについて、相談窓口の紹介などを行い、啓発するとともに、ゲートキーパーなどの自殺対策を支える人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・令和6年度は町の健康づくり計画「健康しめ21」第3次計画を策定した。 ・若い世代、働く世代に啓発を行うよう健康イベントをスポーツフェスタとコラボして開催した。 ・令和6年度食生活改善推進会の在り方を推進委員と協議し、町内会の枠を超えた地域全体に啓発を行う活動内容へと見直しを行った。
課題	・健康づくりの意識や行動変容の取組は世代によって異なる。若い世代への啓発をする機会が少ない。
R8年度取り組み方針	・特に健康づくりの意識が低い働き世代(30~50歳代)へ積極的な啓発を取り組んでいく。 ・生活習慣病の予防や健康意識を高める「90日間体重測定チャレンジ」を継続して行う。

基本目標3(総合戦略)

<b>3-b 地域で高齢者を見守り、支援する</b>	所管課
●町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援 ●地域ネットワークの構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
暮らしやすい地域であると感じる 高齢者の割合【総合戦略】	%	58.7	62.9		S
3-b		↑	64.5		
地域生活に心配になることが ないと感じる高齢者の割合 【総合戦略】	%	12.9	15.3		A
3-b		↑	8.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援 ②地域ネットワークの構築	①町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りを支援します。【総合戦略】 ②地域ケア会議で地域課題を検討し、地域のネットワークを構築します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定を結んだ町内会に高齢者を見守りに同意された方のリストを提供し、町民主体による見守り活動を支援した。</li> <li>・生活支援コーディネーターが地域の支え合いの仕組みづくりを支援した。</li> <li>・町内の医療・介護専門職を対象にした多職種連携研修会を実施した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身寄りのない人や地域と関わりがない人の増加に伴い、孤立死が増えている。</li> <li>・地域の生活支援ニーズに対する、支え合いの仕組みやサービスの提供体制づくりが進んでいない。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終活を身近に感じてもらえるように、講座を開催する。</li> <li>・地域の生活課題やニーズを把握し、地域における生活支援など支え合いの体制づくりを進める</li> </ul>

基本目標3(総合戦略)

<b>3-c 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する</b>	<b>所管課</b>
●高齢者の交流場所の情報提供 ●高齢者の地域活動と社会活動の促進	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
シルバー人材センターへの加入人数 【総合戦略】	人	283	300		B
3-c		↑	248		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①高齢者の交流場所の情報提供 ②高齢者の地域活動と社会活動の促進	①高齢者が地域活動に参加できるよう、地域の交流の場となる居場所の情報を提供します。【総合戦略】 ②高齢者の地域活動を活性化するため、シニアクラブを支援します。【総合戦略】 ③高齢者が就労を通して生きがいを感じながら地域社会で活躍できるよう、シルバー人材センターへの加入促進を図るため、事業活動を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・居場所事例集を町内会、事業所、医療機関等に配布し、居場所について周知した。 ・町民からの居場所や趣味サークル活動等に関する問い合わせに対し、随時情報を提供した。 ・シニアクラブの活動に対し補助金を交付するとともに、総会や大会等の活動を支援した。
課題	・シニアクラブの会員数は単位クラブの解散があり大きく減少しているが、会員の増加につながる有効な打ち手が少ない。
R8年度取り組み方針	・シニアクラブの活動内容や社会的意義についてシニアクラブと連携して周知を図り、活動の活性化や会員数の増加につなげる。

<b>3-d 介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援する</b>	<b>所管課</b>
●フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
公民館などでの介護予防教室に参加した高齢者の延べ人数 【総合戦略】	人	6,187	6,250		B
3-d		↑	3,473		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

フレイルや閉じこもりの 予防機会の提供	<p>①転倒予防、フレイル及び閉じこもり対策として、介護予防教室を住まいから歩いて通える公民館などで開催します。【総合戦略】</p> <p>②公民館などでの介護予防教室に多くの高齢者が参加できるよう、周知と啓発を行います。</p> <p>③介護予防教室では理学療法士などの専門職が家庭でも行える運動などを紹介します。</p> <p>④介護予防と生活習慣病予防の一体化で高齢者の健康づくりを行います。</p>
主な取り組み状況	<p>・介護予防教室は令和6年度から月1回の定期開催(前年度は1回/2か月)に戻り、参加者の実人数も増えている。参加者への介護予防ポイント付与も好評で効果が出ている。</p> <p>・専門スタッフによるフレイル予防と生活習慣病予防(糖尿病予防)の講話、実技を行った。</p>
課題	<p>・地域性、事業内容のマンネリ化により町内会で参加者数に差がある。</p>
R8年度取り組み方針	<p>・介護予防教室の参加者が増えるように周知啓発を行う。(令和7年度に新たなメニュー[ヨガやホームウォーキングなど]を実施)</p> <p>・介護予防と生活習慣病予防の一体化では、保健師等がデータ分析と評価を行い、個人が自主的に健康づくりが取り組んでいけるよう支援する。介護予防ポイントの効率的運用(電子化)を行う。</p>

<b>総合戦略効果検証評価表</b> (事業実施年度:令和6年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる	関係課	まちの魅力推進課、生活安全課、都市整備課、経営企画課、総務課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R6目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
これからも志免町に住み続けたいと思う町民の割合	%	86.4 ↑	87.8 87.1		b

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

<b>4-a まちの魅力を発信する</b>	所管課
●イベントの情報発信と開催支援	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
まちの魅力発信イベント開催数 【総合戦略】	件	2 ↑	3 3		S
4-a					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

イベントの情報発信と開催支援	①商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】 ②企業や商工会、行政が連携し、まちの魅力を発信するイベントの企画やPRを行います。 ③住民活動団体と連携し、まちを活性化するイベントなどを町内外へ発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・商工会主催の商工まつり、商工ミニフェスタの開催を名義後援した。 ・アビスパ福岡及びライジングゼファークオカと、フレンドリータウン協定に基づく「志免町応援デー」を開催した。 ・中の坪公園において、商工会及び周辺の企業と連携しイルミネーションの点灯イベントを行った。
課題	・各種イベントについては、天候に左右される場合がある。
R8年度取り組み方針	・引き続き、商工会や町内の団体などのイベント開催を支援する。 ・天候に左右されないイベントの開催について協議を進める。

基本目標4(総合戦略)

4-b 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
●新規創業者の育成支援 ●創業や事業拡大の支援を目的とした町有地や公共施設の利活用の促進 ★チャレンジプロジェクト	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
起業塾の参加者数 【総合戦略】	人	8	10		S
4-b		↗	10		
産業振興の視点で町有地や施設を 利活用した件数(計画期間内累計)	件	1	2		B
4-b		↗	0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①新規創業者の育成支援 ②創業や事業拡大の支援を 目的とした町有地や公共施設 の利活用の促進	①糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】 ②町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」を開催した。 ・商工会が実施したプレミアム付電子商品券「しめPay」について、プレミアム分及び事務費を支援した。その他、本事業に関する周知や問合せ対応を行った。
課題	・町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用の促進については、町有地や公共施設で利活用できる場所が特定できない。
R8年度取り組み方針	・引き続き、地域経済の状況を考慮しつつ、新たな運用形態も検討しながら事業を実施する。

基本目標4(総合戦略)

4-c 地域ぐるみの防犯活動の促進と防犯環境を整える ●地域の防犯機能の強化 ●防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援 ●管理不全な空き家対策の実施	所管課 生活安全課
---	--------------

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
日常から防犯対策を行っている町民の割合【総合戦略】 4-c	%	87.0	87.8		B
刑法犯認知件数【総合戦略】 4-c	件	241	210		B

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①地域の防犯機能の強化 ②防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援 ③管理不全な空き家対策の実施	①志免町地域安全安心センターを拠点として、地域の防犯機能を強化します。【総合戦略】 ②防犯指導員による青色回転灯付きパトロールカーでの地域防犯パトロールを行うとともに、地域の防犯灯の設置を支援します。【総合戦略】 ③管理不全な状態で放置されている空き家の所有者に、適正に管理するよう助言や指導を行うとともに、管理不全な空き家を早期に把握するため、防犯指導員による町内巡回を実施し、地域住民からの情報提供を呼びかけます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・児童生徒の登下校時間に合わせて、防犯指導員による青色回転灯付き防犯パトロールカーによる町内の巡回を行った。 ・地域における犯罪防止のため、町内会が設置した防犯灯の設置費用及び電気料金の一部を補助した。 ・空き家の情報提供を受け職員が現地確認を行い、管理不全な空き家について所有者に適正管理の指導助言を行った。
課題	・防犯灯機器の価格高騰により、町内会の費用負担が増大している。 ・地域の安全・安心の観点から、町内会が設置する防犯カメラへの補助実施について議会から意見がある。 ・町民一人ひとりの防犯意識は向上しているものの、日常から防犯対策を行っている町民の割合は目標値までには達成していない。 ・経済的な負担等で空家等の所有者による適正な管理が進まない。
R8年度取り組み方針	・町内会の負担軽減を図るため、防犯灯の設置及び取替に係る補助金を見直す。 ・町内会が設置する防犯カメラについては、その設置費用に対する補助を実施する。 ・町民一人ひとりが防犯対策ができるよう粕屋警察署及び志免交番と連携した取り組みや防犯指導員による出前講座、広報・回覧等で「自助、共助」の方法についての啓発を行う。 ・空家等の所有者の経済的な問題を解消し解体の促進を図るために創設した、空家等の解体費用に係る補助金制度について周知を行う。

基本目標4(総合戦略)

4-d 災害時に迅速に対応できる防災体制を確立する	所管課
●消防団員の確保 ●自主防災組織の活動支援と人材育成	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
日常から防災対策・準備している町民の割合【総合戦略】	%	68.1	69.0		S
4-d		↑	73.7		
消防団員の人数【総合戦略】	人	170	180		B
4-d		↑	127		
自主防災組織設置数【総合戦略】	組織	26	27		B
4-d		↑	26		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①消防団員の確保 ②自主防災組織の活動支援と人材育成	①地域防災力の要となる消防団員を確保します。【総合戦略】 ②自主防災組織の設置を促進するとともに、活動支援を行います。また、自主防災組織の中心となる人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分団ごとに特色のあるチラシを作成し、管轄町内会の行事等でPR活動を行った。</li> <li>・消防団PR動画を作成しホームページで公開した。</li> <li>・日本防災士会福岡県支部と連携して、自主防災組織の活動支援を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員が減少している。</li> <li>・町内会役員の交代により、自主防災組織結成後の実効性のある活動の継続が難しい。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勧誘活動と併せて、団員募集のポスター掲示や社員紹介依頼のため町内の事業所訪問、消防団員募集のパンフレットを町の行事等で配布し、また、消防団に関心を持ってもらうように消防団の活動内容を広報紙やホームページにて周知する。</li> <li>・出前講座や日本防災士会福岡県支部と連携して、地域防災の要となる自主防災組織の結成、育成等の支援を行う。</li> </ul>

基本目標4(総合戦略)

<b>4-e 快適な住環境を整える</b>	<b>所管課</b>
●地域交通の利便性の向上 ●時代と地域特性にあった建築規制の見直し	都市整備課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	85,000		B
4-e		↑	22,281		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

①地域交通の利便性の向上 ②時代と地域特性にあった建築規制の見直し	①町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】 ②高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・「のるーと志免」を年間289日運行し、22,281人が利用した。 ・地域公共交通会議を開催し、令和6年度の「のるーと志免」2台増車の合意形成を行った。
課題	・「のるーと志免」を利用したい時間に偏りがあり、予約をとりづらい時間がある。
R8年度取り組み方針	・「のるーと志免」の安定的で効率的な運行のため、関係事業者と連携による町にあった運行システムや運行シフトなどの調整やあらゆる広報媒体を活用して利用方法や乗降場所などの啓発を行う。

<b>4-f 健全な財政運営を行う</b>	<b>所管課</b>
●ふるさと納税の充実	経営企画課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
ふるさと納税寄附額【総合戦略】	円	6億 5千万	9億		B
4-f		↑	4億		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ふるさと納税の充実	外部資金を獲得するため、従来のふるさと納税を充実させるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税といった新たな取組を活用します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・ふるさと納税について、志免町商工会や中間事業者と連携し、事業者の開拓や新しい返礼品の開発を進めるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税も実施し、昨年度比約16%の寄附があった。また、企業版ふるさと納税では10件の寄附があった。
課題	・ふるさと納税を集める返礼品やポータルサイトに偏りがあり、また総務省の基準の厳格化により事務量の増加や煩雑化が懸念される。
R8年度取り組み方針	・商工会や中間事業者と連携し、事業者の新規開拓や新規返礼品の開発を進めるとともに、総務省基準を順守した適正なふるさと納税を実施する。

基本目標4(総合戦略)

4-g 行政サービスの向上と情報化を進める	所管課
●ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化	総務課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R6実績値		
行政サービスに満足している町民の割合【総合戦略】	%	69.3	70.0		S
4-g		75.5	70.0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化	<p>①町民の多様なライフスタイルや新しい生活様式に対応できるよう、行政手続きのオンライン化やSNSによる情報発信などICTを活用した行政サービスを行います。【総合戦略】</p> <p>②効率的な行政運営を行うため、ICTを活用した業務のシステム化とネットワーク化を行います。【総合戦略】</p>
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルデバインド(情報格差)解消の取り組みとして、スマートフォンの使い方を学べる「スマホ出張教室」を公民館にて開催した。また、毎週水曜日には、シームレスにスマートフォンに関する相談窓口を設置し、気軽に相談できる環境を整えた。</li> <li>基幹システム標準化に伴う、標準仕様とのFit&amp;Gap(標準化に向けた新しいシステムと現行システムの違いの分析)を行い、標準化に向けての業務の整理を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の行政手続きはオンライン化されていない。また、デジタルデバインド(情報格差)が完全には解消されていない。</li> <li>コミュニケーションの手段(公用携帯電話の内線、職員PC内の機能、回覧、スケジュール等)が分かれているため、複数のプロセスが必要となり、業務の効率が低下している。また、システム標準化に伴い、業務フローが大きく変わる。</li> </ul>
R8年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請のシステム等を運用することで、行政手続きのさらなるオンライン化を進める。デジタルデバインド(情報格差)をなくすため、スマホ出張教室をさらに多くの公民館で実施する。</li> <li>コミュニケーションツールの集約(Microsoft365等の活用)や、生成AIを利用することで、効率的な行政運営を目指す。システム標準化による業務の改善と合わせて住民の利便性向上を図るため、窓口(フロントヤード)改革を進める。</li> </ul>